

## ⑧ 逆井橋

王希天虐殺現場



吉林省出身の留学生王希天（写真上前列右から 2 人目、右は周恩来）は、1918 年「中日共同防敵軍事協定」反対運動を周恩来とともに推進した。1919 年五・四運動においては東京で支援運動を起こし、日本官憲から「反日の巨頭」と目された。



さらに日本に出稼ぎに来ていた中国人労働者の生活と権利擁護のために、1922 年 9 月 21 日、労働者の拠点である大島町 3 丁目に「僑日共済会」を作った。王希天が委員長となった。名古屋（22 年 4 月結成）、大阪、京都にも支部があった。1923 年 5 月中旬には会員 3000 人を下らないまでになった。僑日共済会は、労働者の生活改善・慰問活動、診療活動、日本語教育活動を行い、さらに未払い賃金などの労働相談や労働者を国外退去攻撃から守り、身分安定を求める行政交渉などにあたった。

（写真：中国人労働者の労働現場を視察する王希天僑日共済会会長（中央のコート姿）『王希天小史』所収）



1923 年 9 月 9 日、王希天は、大島町の労働者の様子を見に行ったところで亀戸警察署に逮捕され、9 月 12 日夜、亀戸署から軍隊に引き渡され、その日未明、習志野に向かう逆井橋のふもとで野重第 3 旅団第 1 連隊垣内八洲夫中尉、佐々木兵吉大尉等によって虐殺され、切りきざまれて、中川に投げこまれた

（写真：逆井橋での追悼）。

その軍隊による虐殺は日本政府によって隠蔽され続けたが、関係した軍人の日記などによって事実が明らかとなった（『関東大震災と中国人—王希天事件を追跡する』田原洋、2014 年、岩波現代文庫参照）。

## ⑨ 幽冥鐘



両国の横網町公園には中国の仏教徒から関東大震災犠牲者の追悼のために送られた幽冥鐘がある。震災の報に接した中国杭州及び上海の寺で法要が営まれ、中国国内でこの「幽冥鐘」が鑄造され、1925 年 11 月 1 日に横網町公園に運ばれた。鐘楼は 1930 年に完成。上海の王一亭氏の尽力による。